

ホームページを
ご覧下さい。
「厚木爆同」で検索
して下さい。

厚木爆同

【発行】
厚木基地爆音防止期成同盟
発行責任者 石郷岡 忠男
事務所 大和市桜森3-5-3
フロント1F
TEL 046-240-7450
FAX 046-261-5615
bakudou@kanagawa.email.ne.jp

第60回定期代議員総会報告

書面審査にて開催

当初5月9日に開催予定でありました第60回定期代議員総会は、新型コロナウイルス感染症防止のため5月30日に延期し、その後の状況の中でさらに7月5日に延期しました。しかし、会場の使用条件などの関係で一堂に会しての開催を断念せざるを得なくなり、代議員に議決権行使書を配布し議案を議決する書面審査の形で総会を行いました。

7月3日に全代議員65名からの議決権行使書を集約し、すべての議案が提案の通り採択されました。代議員様のご協力により第60回定期代議員総会が終了した事をご報告致します。書面審査による開催にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

結成60年の節目

新たな厚木爆同運動の構築

厚木爆同委員長 石郷岡 忠男

1960年に発足した厚木基地爆音防止期成同盟は、今年60年という節目の年を迎える事になりました。厚木爆同はこの60年間、様々な運動を展開してきました。そして数々の成果も上げています。一番大きな成果は、艦載機の岩国移駐だったと思います。

それまでの厚木基地は激しいジェット機の騒音と墜落の恐怖にさらされてきました。東京オリピックが開かれた1964年、町



騒音の問題も、国は岩国移転で解決したかのような言い回しをしています。100dB以上の音は少なくなったものの、70dBから90dBの音は2、3割少なくなった程度で依然として国が定める環境基準を大きく上回る状態が続いているの

聞かして！聞かして！（厚木爆同会員の声）

座間の上空にもP1ジェットなど自衛隊機の騒音が、朝から晩まで相当うるさい。昼寝のために横になっても「ゴォー」とジャマされる腹立たしい限りだ。ここ何回かの本欄は47才60才とき、次は72才なのだが残念ながら69才です。若さや爆同と同年齢ときたが、私が云えるのは女性ということです。座間支部といわずどの支部でも女性の

しぶとく明るい活動が、家庭はもちろん運動をも強力に支えているのではないのでしょうか。さて地球が壊れかかっている怒りともいえるのが天候異変です。しかも政府がいう「国土強靱化」の実態が「何もしていない」河川管理のズサンさが人災となって人的被害をもたらしています。一方コロナ対策もあの最中に東京都では保健医療体制の弱体化の法案が

（座間支部 nom i）

60周年記念式典は1年延期

先輩たちの活動を振り返り、結束を強めて以降の前進を図るために記念式典を今年9月に行うことを準備して参りましたが、新型コロナウイルスの感染が広がったために、状況が変わりました。感染予防のために、式典は来年に延期することを実行委員会が決定しました。具体的な実施日程は未定です。実施するときには改めてご案内いたします。

いますし、常に墜落の恐怖を抱えている生活は変わらないもの、今は基地の縮小、返還に向かって大きく展開していく事にこれから皆様のお力を貸してください。

厚木爆同はこれからも、静かな空を求めると同時に、安全・安心な、普通の暮らしができるように闘いを進めて参ります。

厚木基地の航空機の危険な運用を中止するよう求める申し入れ



米軍当直士官へ申し入れ書を渡す

この間、厚木基地では海兵隊機の離着陸、及びMV-22オスプレイの厚木基地を拠点とした飛行、そしてそれらが引き起こす爆音と航空機の不具合の放置、日米合意違反のオスプレイの転換モードでの飛行などが相次ぎました。

まず、6月5日には岩国基地所属の海兵隊機F/A18Cが4機、厚木基地に飛来しました。この4機は、その日のうちに訓練飛行に出ますが、うち2機が早めに戻ったかと思うと、滑走路周辺に緊急車両が集まり、着陸した1機を取り囲む様子が見受けられました。不具合を生じた事は明らかです。

次には、6月29日に普天間基地所属の海兵隊機MV-22オスプレイが4機飛来しました。2012年の日米合意ではオスプレイは住宅密集地を避けて飛ばなければならぬとされています。飛来する事自体が合意違反です。その上、相模原市、大和市の住宅地上空で

は転換モードで飛行していた事が多くの市民に目撃されています。

以上の事から厚木爆同は、厚木基地で戦闘機の離着陸を行わない事、オスプレイの厚木基地への飛来及び住宅密集地での飛行をやめる事の2点について、7月9日米軍司令官に向け申し入れを行いました。

米軍側からは、新型コロナウイルス感染防止の観点で行動参加者への人数制限がありました。当初予定していた人数を大きく超える参加があり、代表5人が正門前で行動し、他の参加者は周りで待機するという形で整然と抗議申し入れを行いました。

(情宣部 森 謙治)

学校の再開に向けて 飛行自粛を求める要請行動

新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言が解除され、6月1日から学校も再開されました。厚木基地周辺の学校は防音工事が施され、防音窓や空調機などの設備が整えられており、授業中は窓を閉めて行う事ができます。しかし、現在のコロナ禍の



南関東防衛局で申し入れ状況や市から換気のため窓の開放を指導されています。厚木基地

厚木基地近くの引地川から 基準値越えの有機フッ素化合物検出

米軍厚木基地近くを流れる引地川から暫定目標値の約5倍にあたる有機フッ素化合物(PFOS, PFOA)が検出されたことが6月11日、環境省の全国調査でわかった。有機フッ素化合物は有害性が指摘されており、県大気水質課は、「厚木基地との関連性は否定できないが裏付けるデータはなく、状況の確認を継続していく」としている。

環境省の暫定目標値は、PFOSとPFOAの合算値で1リットルあたり50ナノグラム。存在状況を確認する全国調査で県内は12地点が対象となり、大和市と藤沢市の引地川6地点で暫定目標値を超過した。

学校の再開に向けて 飛行自粛を求める要請行動

地周辺では、窓を開けると米軍や自衛隊の航空機による騒音で会話もできない状態が何十年にもわたって続いています。学校再開にあたってこのような状況が続くことは到底許されるものではありません。

そこで、6月5日に厚木爆同は、第五次原告団とともに、防衛大臣と南関東防衛局長に対し、米軍機と自衛隊機の飛行自粛を求める要請書を提出しました。

あわせて、基地内の新型コロナウイルス感染者の状況を速やかに公表する要請も行ないました。

(情宣部 森 謙治)

厚木基地近くの山王橋(大和市)地点で248.5ナノグラム、福田1号橋(同市)で213.3ナノグラムを検出。今年1月に取水し、下流ほど低くなる傾向があった。

県は「引地川は飲用水源ではなく、間違っても口に入っても直ちに健康に影響があるものではない」としている。有機フッ素化合物を含む大規模火災用の泡消火剤は米軍基地などで使われ、沖縄県内では基地外への流出が問題になっている。

以上の状況証拠から近隣に居住し、引地川と共に生活する我々住民にすれば「間違っても口に入っても直ちに健康に影響があるものではない」と断言できるだろうか。引地川沿いには多くの動植物の生態が営まれている。魚が泳ぎ野鳥がさえずりこどもたちが走り回る自然豊かな風景が守られるべき命ではなからうか。「人間だけが命ではない」と大きな声で言いたい。厚木基地は爆音を発生させるだけではなく今回のような暫定目標値の約5倍にあたる有機フッ素化合物が引地川の水の中で有毒有害性のある化学物質がある事態



引地川福田1号橋

を基地関係者、特に米国駐留軍は緊急対応しなければならぬ。基地内でのようなことが行われているか周辺住民は詳細には知るよしもないが、有害物質が垂れ流しにされ土壌に浸透し川に流れる自然現象を日本の環境省としても見過ごすわけにはいかないのではないのか。米軍のやることに何も言えない「地位協定」を一度も改定することなく継続している日本政府に怒りを覚えます。

(情宣部 矢澤洋二)

他所事ではない 米軍オスプレイ 飛行中部品落下か

6月16日、米軍横田基地配備のオスプレイの部品(サーチライトドーム、重さ453グラム)が、飛行中に落下した可能性があることが分かりました。小さな金属片でも、落下中に加速度が増しその衝撃は激しく、人に当たれば大怪我をひき起こす航空機の部品落下。厚木基地周辺でも後を絶たず、12年に大和市で、14年には綾瀬市で金属部品落下事故が起きています。

飛来するオスプレイだけでなく、多種な航空機の飛行が減らない厚木基地周辺は、常に危険にさらされているのです。

(情宣部 貝津正孝)



オスプレイ 飛来